

< 2021 年度安全への取り組み >

「2021 年度重点施策」

- ① 関係法令の遵守及び法令よりも厳しい社内基準の徹底を図るため、日々従業員との傾聴を更に深め、安全輸送に対する啓蒙を迫及してまいります。
- ② 春夏秋冬の交通安全運動期間中に、社長以下管理職全員の早朝車両点検立会いを実施し、事故防止の更なる機運を向上させ、企業の安全風土を浸透化させてまいります。
- ③ ドライブレコーダー及びデジタルタコグラフの分析による、ヒヤリハット教育や速度超過、エコ運転等の指導を、日常更に強化して取り組んでまいります。
- ④ 年2回の定期健康診断に基づく面接を強化し、乗務員の健康状態の把握を深め、また日々の時間管理等を細かく解析し、過労防止に取り組んでまいります。
- ⑤ 輸送の安全に関する費用支出や投資も積極的に且つ効率的に行い、事業者としての法令適合性に関しても、定期的な内部監査を実施して情報公開をしてまいります。
- ⑥ 年2回の乗務員集合教育を、小グループ化して頻度を上げることにより、安全意識や技能向上を図り、情報共有の深度化による社内連絡体制を強化してまいります。

輸送の安全に関する事故削減目標と実績（一般貸切旅客自動車事業）

	2021 年度目標	2020 年度実績	2019 年度実績
重大事故	0 件	0 件	0 件
物損事故	0 件	0 件	3 件

2020 年度乗務員採用・健康管理・諸会議及び教育研修実績

- ▶年度末の貸切営業所の本社へ統合による、貸切乗務員 3 名採用実施。
- ▶年 2 回の定期健康診断受診と、全乗務員の 3 割に S A S 検査実施。
- ▶社長主催の運輸安全マネジメント会議を 3 ヶ月に一度実施。
- ▶乗務員 2020 年度無事故無違反表彰を 4 月に実施。
- ▶乗務員年間教育計画の策定と各月目標テーマの習得完遂。

輸送の安全に関わる重要事項

<経営トップに至る社内連絡体制の確立>

- ▶安全管理規程（P D F）に基づく、安全管理体制組織図及び緊急連絡網の周知。
- ▶社内内部監査の実施（本社営業所 3/27 実施）、及び社長への報告書提出。
- ▶国土交通省及びその外郭団体による、運輸安全マネジメント研修への幹部職員の参加。（リスクマネジメント・ガイドライン・内部監査等各セミナー受講）

<運行管理、労務管理の徹底>

- ▶ドライブレコーダー及びデジタルタコグラフの全車導入（平成 27 年度）による検証で、労務管理と健康管理を推進。
- ▶パイアールアルキラーの導入（令和 2 年 8 月）による非対面点呼の精度の向上。

「アルコール検知器協議会（認定番号：J B 10001-11）」

<整備管理の徹底>

▶法令遵守に基づく社内基準と予防整備の強化。

法令よりも厳しい社内基準の遵守徹底

一般貸切旅客自動車事業に関わる安全運行につきまして、乗務員の過労運転防止のため当社に於きましては、下記の基準にて運行指示をさせていただきます。

<u>1 日の運転時間</u>	<u>8 時間以内</u>
<u>連続運転時間</u>	<u>3 時間 30 分以内（休憩 15 分以上）</u>
<u>1 日の走行距離</u>	<u>460km 以内</u>

※長距離、長時間拘束は、乗務員を 2 名とさせていただきます。

日本リース株式会社

代表取締役社長 松原 一正